

【卷末資料】

■多摩・高しよ地域の特性やまちづくりの課題(分析結果の概要)

レガシーの柱	分析項目			分析結果の概要 (★印は上位の3ブロック。ただし、人口関連データなど一概に比較することが困難な指標については★印を付けていない。 ▲は本編で言及している中長期的な課題に関連する部分)						
	分析の視点	分析指標	出典	西多摩地域 <第1ブロック> (青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)	南多摩地域 <第2ブロック> (八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)	北多摩地域			高しよ地域 <第6ブロック> (大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村)	
スポーツ・健康	スポーツ	1	「スポーツ祭東京2013」会場施設の立地状況	スポーツ祭東京2013ホームページ	★会場施設は9箇所	★会場施設は15箇所	・会場施設は9箇所	★会場施設は12箇所	・会場施設は5箇所	・会場施設は1箇所
		2	大会関連施設の立地状況	TOCOGホームページ(2016年1月時点)	—	—	—	—	—	—
健康	健康	3	年少人口	総務省「国勢調査」(1970～2010年)	・年少人口(2010年)は5.2万人(同比率13.1%) ・1980年をピークに減少し続けている。	・年少人口(2010年)は18.4万人(同比率12.9%) ・年少人口は1980年をピークに減少傾向で推移していたが、2000年以降回復傾向に転じている。	・年少人口(2010年)は8.1万人(同比率12.7%) ・年少人口は1975年をピークに減少している。	・年少人口(2010年)は11.9万人(同比率11.9%) ・年少人口は1975年をピークに減少し続けたが、2000年以降は回復の兆しを見せている。	・年少人口(2010年)は9.2万人(同比率12.7%) ・年少人口は1975年をピークに減少し続けたが、2000年以降は横ばい傾向で推移している。	・年少人口(2010年)は0.3万人(同比率11.9%) ・年少人口は一貫して減少傾向で推移している。
		4	生産年齢人口	総務省「国勢調査」(1970～2010年)	・生産年齢人口(2010年)は25.3万人(同比率63.9%) ・生産年齢人口は1995年にピークアウト	・生産年齢人口(2010年)は93.2万人(同比率65.7%) ・生産年齢人口は2005年にピークアウト	・生産年齢人口(2010年)は42.5万人(同比率66.3%) ・生産年齢人口は2000年にピークアウト	・生産年齢人口(2010年)は68.6万人(同比率68.5%) ・生産年齢人口は概ね増加傾向で推移	・生産年齢人口(2010年)は47.6万人(同比率65.4%) ・生産年齢人口は1995年にピークアウト	・生産年齢人口(2010年)は1.6万人(同比率58.7%) ・生産年齢人口は1975年にピークアウト
		5	高齢者人口	総務省「国勢調査」(2010年)	▲高齢者人口9万人 ▲高齢化率22.8%	▲高齢者人口29.4万人 ▲高齢化率20.7%	▲高齢者人口13.1万人 ▲高齢化率20.4%	▲高齢者人口18.9万人 ▲高齢化率18.9%	▲高齢者人口15.7万人 ▲高齢化率21.6%	▲高齢者人口0.8万人 ▲高齢化率29.4%
		6	人口10万人対病床数	東京都「東京都の医療施設」、「東京都統計年鑑」(2013年10月1日時点)	・1,709.1病床/10万人	・1,230.1病床/10万人	・688.7病床/10万人	・1,106.6病床/10万人	・1,164.6病床/10万人	・200.2病床/10万人
	7	要介護(要支援)認定者比率	東京都「介護保険事業状況報告(年報)」、「住民基本台帳による世帯と人口(日本人及び外国人)要介護認定者数は2013年度末時点、総人口は2014年4月1日時点)	・3.4%(特別区部4.0%)	・3.9%(特別区部4.0%)	・3.8%(特別区部4.0%)	・3.9%(特別区部4.0%)	・4.3%(特別区部4.0%)	・6.6%(特別区部4.0%)	
	8	障がい者	東京都「東京都統計年鑑」(「福祉・衛生」統計年報)(2008～2012年度末)	▲障がい者数は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者ともに増加傾向にある。						
	まちづくり	人口動態	9	総人口の推移・将来推計	総務省「国勢調査」(2010年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計)	・総人口は39.6万人(2010年) ▲将来人口は一貫して減少し、2040年は2010年の8割弱	・総人口は142.0万人(2010年) ▲将来人口は2020年にピークアウトするが、2040年も2010年比9割以上を維持	・総人口は64.1万人(2010年) ▲将来人口は2015年にピークアウトするが、2040年も2010年比9割以上を維持	・総人口は100.2万人(2010年) ▲将来人口は2020年にピークアウトするが、2040年も2010年比9割以上を維持	・総人口は72.8万人(2010年) ▲将来人口は2015年にピークアウトするが、2040年も2010年比9割以上を維持
10			人口密度	総務省「国勢調査」(2010年)	・691人/km ² と非常に低い。	・4,374人/km ² と都平均(6,016人/km ²)より低い。	・7,105人/km ² と、都平均(6,016人/km ²)より高い。	・10,452人/km ² と、都平均(6,016人/km ²)より高い。	・9,502人/km ² と、都平均(6,016人/km ²)より高い。	・69人/km ² と非常に低い。
11			社会増減数	総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」(2010～2014年)	・2012年に流入超過から流出超過に転じ、流出超過は拡大傾向(2014年は81人の流出超過)	・直近5年は流入超過 ・2014年は2,038人の流入超過で、2010年時の4割に縮小	・直近5年は2011年を除き、流入超過 ・2014年は2,063人の流入超過で、2010年の14倍に急拡大	・直近5年は流入超過 ・2014年の流入超過数は4,377人で2011年時の4倍に拡大	・直近5年は流出超過だが、流出超過数は減少傾向 ・2014年の流出超過数は1,018人で2010年の3分の1に縮小	・直近5年は2011年を除き、流出超過 ・2014年の流出超過数は111人で、前年は256人の流出超過
12			就従比	総務省「国勢調査」(1995～2000年)	・0.87(2010年)と1を下回っており、ベッドタウン的性格が強い。 ・2000年以降の変化は小さい。	・0.81(2010年)と1を下回り、ベッドタウン的性格が強い。 ・2000年以降、0.04増加しており、拠点性が高まりつつある(中核市八王子市の存在)。	・0.89(2010年)と1を下回っており、ベッドタウン的性格が強い。 ・2000年以降の変化は小さい。	・0.82(2010年)と1を下回っており、ベッドタウン的性格が強い。 ・2000年以降の変化は小さい。	・0.65(2010年)と1を大きく下回っており、ベッドタウン的性格が非常に強い。 ・2000年以降の変化は小さい。	・1.01(2010年)で職住一体化 ・2000年以降の変化は小さい。
13			住宅事情	総務省「住宅・土地統計」(2013年)	★持ち家住宅比率は64.9%(檜原村、奥多摩町を除く) ★1住宅あたりの延べ床面積は65.77㎡(市部のみ)、あきる野市は76.60㎡で多摩市部で最大	★持ち家住宅比率は53.5% ★1住宅あたりの延べ床面積は63.65㎡	・持ち家住宅比率は50.9% ・1住宅あたりの延べ床面積は60.93㎡	・持ち家住宅比率は45.7% ・1住宅あたりの延べ床面積は56.14㎡	★持ち家住宅比率は53.0% ★1住宅あたりの延べ床面積は61.94㎡	—
14	刑法犯認知件数	東京都「東京都の自治体別刑法犯発生状況」(2014年度)	・2.0件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)	・2.0件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)	・2.4件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)	・2.3件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)	・1.9件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)	・0.4件/千人(特別区部は3.0件/千人)(2014年度)		

■多摩・島しょ地域の特性やまちづくりの課題(分析結果の概要)

レガシーの柱	分析項目			分析結果の概要 (★印は上位の3ブロック。ただし、人口関連データなど一概に比較することが困難な指標については★印を付けていない。 ▲は本編で言及している中長期的な課題に関連する部分)					
	分析の視点	分析指標	出典	西多摩地域 <第1ブロック> (青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)	南多摩地域 <第2ブロック> (八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)	北多摩西部地域 <第3ブロック> (立川市、稲吉市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市)	北多摩南部地域 <第4ブロック> (武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市)	北多摩北部地域 <第5ブロック> (小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)	島しょ地域 <第6ブロック> (大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村)
文化・教育	国際交流・多文化共生	15 外国人人口の割合	東京都「東京都の統計」(2014年)、「都内の米軍基地」(2014年1月1日現在)	・外国人人口は6,415人(同比率1.6%) ・米軍基地(横田飛行場)が立地	・外国人人口は19,353人(同比率1.4%) ・米軍基地(多摩サービス補助施設、由木通信所)が立地	・外国人人口は10,337人(同比率1.6%) ・米軍基地(横田飛行場)が立地	・外国人人口は15,689人(同比率1.6%) ・米軍基地(府中通信施設)が立地	・外国人人口は11,803人(同比率1.6%) ・米軍基地(大和田通信所)が立地	・外国人人口は2,272人(同比率0.8%) ・米軍基地(硫黄島通信所)が立地
		16 姉妹(友好)都市提携状況	一般財団法人自治体国際化協会「姉妹(友好)提携情報」(2015年4月30日時点)	・青梅市:ポツバルト市(独) ・あきる野市:マールポロウ市(米) ・瑞穂町:モーガンヒル市(米) ・奥多摩町:淳安県(中)	・八王子市:高雄市(台)、泰安市(中)、始興市(韓) ・日野市:レッドランズ(米)	・立川市:サンバーナディノ市(米) ・国分寺市:マリオン(澳)	・府中市:ヘルナルス区(澳)	・東村山市:インディペンデンス(米)、蘇州市(中)	・大島町:ハワイ郡ヒロ(米) ・八丈町:マウイ郡(米)
		17 外国人支援・国際交流団体、国際協力団体数	東京都国際交流委員会「都内の外国人支援・国際交流団体、協力団体」(2015年6月時点)	・9(5位)	★17(2位)	★15(3位)	・12(4位)	★21(1位)	・0(6位)
		18 オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定数	東京都「平成27年度オリンピック・パラリンピック教育推進校一覽」	・40(5位)	★91(1位)	・56(4位)	★74(2位)	★58(3位)	・7(6位)
ボランティア・NPO活動	ボランティア・NPO活動	19 大学数・学生数	東京都「学校基本調査報告」、「東京都の人口(推計)」(大学生数は2015年2月27日時点、人口総数は2015年3月1日時点)	・0(5位)	★10万人(1位) ・人口10万人 対学生数7,046人(特別区部5,858人) ・▲学校数は21	★1.6万人(3位) ・人口10万人 対学生数2,535人(特別区部5,858人) ・▲学校数は4	★4.8万人(2位) ・人口10万人 対学生数4,694人(特別区部5,858人) ・▲学校数は13	・1.3万人(4位) ・人口10万人 対学生数1,759人(特別区部5,858人) ・▲学校数は6	・▲0(5位)
		20 NPO法人数	内閣府「NPO法人情報」(2015年6月時点、主たる事務所の住所より整理)	・134(5位)	★644(1位)	・285(4位)	★516(2位)	★329(3位)	・26(6位)
		21 製造品出荷額等	経済産業省「工業統計調査」(2013年)	★12,956億円 ★多摩・島しょ地域でのシェアは27.9%で第1位	★11,908億円 ★多摩・島しょ地域でのシェアは25.6%で第2位	・7,084億円 ・多摩・島しょ地域でのシェアは15.2%で第4位	★10,172億円 ★多摩・島しょ地域でのシェアは21.9%で第3位	・4,337億円 ・多摩・島しょ地域でのシェアは9.3%で第5位	・28億円 ・多摩・島しょ地域でのシェアは0.6%で第6位
経済・観光	地域産業の状況	22 地域産業資源の分布状況	財団法人東京都中小企業振興公社「東京都の地域資源」(2010年)	★地域産業資源数は46で多摩地域5ブロックで最も構成比率は、鉱工業品、農林水産物、文化財等の観光資源で3分の1ずつ	・地域産業資源数は17で比較的少ない。 ・構成比率は、鉱工業品、農林水産物、文化財等の観光資源で3分の1ずつ	・地域産業資源数は19で比較的少ない。 ・構成比率は、鉱工業品、農林水産物、文化財等の観光資源で3分の1ずつ	・地域産業資源数は16で比較的少ない。 ・構成比率は、文化財等の観光資源が6割で最も高い。	・地域産業資源数は15で比較的少ない。 ・構成比率は、文化財等の観光資源が7割で最も高い。	★地域産業資源数は84で6ブロック最多 ・構成比率は、農林水産物が4割強で最も高い。
		※地域産業資源① 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術 ② 農林水産物 ③ 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源	※主要な地域産業資源 ①計測・分析機器、多摩産材、東京地酒(清酒) ②奥多摩やまめ、TOKYO X、東京しゃも ③秋川渓谷、玉川上水・羽村堰、福生七夕まつり ※赤字は複数市町村に渡る資源	※主要な地域産業資源 ①東京地酒(清酒)、多摩織、服飾製品 ②TOKYO X、東京しゃも ③高尾山、よこやまの道	※主要な地域産業資源 ①村山大島紬 ②東京狭山茶 ③国営昭和記念公園、昭島市民くら祭	※主要な地域産業資源 ①東京地酒(清酒) ③井の頭恩賜公園	※主要な地域産業資源 ③正福寺地藏堂、東伏見稲荷神社等	※主要な地域産業資源 ①東京のくさや、島酒(焼酎)等 ②あしたば、アカイカ、たぐんさ、さざえ、樺、たかべ等 ③椿林、南ヶ山園地、大踏、天上山、登龍峠、くじらの来遊域等	
		23 過去10年間国際会議開催件数の合計(2004~2013年)	JNTO「2013年国際会議統計」	・開催経験なし	★16件 ・ブロック内では八王子市が9件と最も多い。 ・拠点施設例:首都大学東京	★26件 ・ブロック内では立川市が17件と最も多い。 ・拠点施設例:国立国語研究所統計数理研究所	★42件 ・府中市(11件)、三鷹市(10件)、小金井市(10件)が上位3位を占める。 ・拠点施設例:東京外国語大学	・3件(小平市2件、西東京市1件)	・開催経験なし
		24 旅館・ホテル数	東京都「福祉統計年報」(2014年3月31日時点)	★旅館64軒(2位) ・ホテル12軒(4位) ★合計76軒(3位)	★旅館44軒(3位) ★ホテル55軒(1位) ★合計99軒(2位)	・旅館39軒(4位) ★ホテル32軒(2位) ・合計71軒(4位)	★旅館18軒(5位) ★ホテル24軒(3位) ・合計42軒(5位)	・旅館11軒(6位) ・ホテル9軒(5位) ・合計20軒(6位)	★旅館112軒(1位) ・ホテル5軒(6位) ★合計117軒(1位)
地域ブランド力・訪日外国人の受入環境	25 都市公園等(国都区市町村立公園、国民公園等、公園・公団・公社の設置する公園)の面積	東京都「東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表」(2014年4月1日時点)	・363.5万㎡(5位) ★人口1人当たり面積9.32㎡(3位) ※特別区部4.45㎡/人	★1,580.6万㎡(1位) ・人口1人当たり面積11.10㎡(2位)	★530.4万㎡(3位) ・人口1人当たり面積8.25㎡(4位)	★541.9万㎡(2位) ・人口1人当たり面積5.35㎡(5位)	・220.6万㎡(6位) ・人口1人当たり面積3.02㎡(6位)	・408.8万㎡(4位) ★人口1人当たり面積155.49㎡(1位)	
	26 観光スポット数	JTBホームページ「東京の観光ガイド」(2015年7月時点) Lonely Planet Publications Pty Ltd「Lonely Planet Tokyo」(2012年)	★83(1位) ・「Lonely Planet Tokyo」(旅行ガイドブック)では、奥多摩(鋸山、大岳山、御岳山)が紹介されている。	★62(2位) ・「Lonely Planet Tokyo」では、高尾山、高尾山薬王院が紹介されている。	・30(4位)	★41(3位) ・「Lonely Planet Tokyo」では、井の頭恩賜公園、三鷹の森ジブリ美術館が紹介されている。	・12(6位)	・26(5位)	

■多摩・島しょ地域らしいレガシー創出に向けた取組の理念

All 多摩 & 島しょ地域	<p>①実施しやすく継続可能な取組を推進する 大会開催後も見据えたレガシーの創出に向け、新規事業のみならず、既存事業のレベルアップ等による実施しやすく継続可能な取組を推進する。</p>
	<p>②地域を見直し、気づきを得る好機とする 大会を、中長期的かつグローバルな視点で地域を見直し、気づきを得る好機とする。</p>
	<p>③近隣市町村等との広域連携を積極的に推進する 各市町村が個別に取り組むだけでなく、地域資源等の共有や相互補完の観点から、近隣市町村等との広域連携を推進する。</p>

■多摩・島しょ地域で創出すべきレガシー・取組方策一覧

政策分野	創出するレガシー	北多摩地域					島しょ地域 <第6ブロック> (大島町、利島村、 新島村、神津島村、 三宅村、御蔵島村、 八丈町、青ヶ島村、 小笠原村)
		西多摩地域 <第1ブロック> (青梅市、福生市、 羽村市、あきる野市、 瑞穂町、日の出町、 檜原村、奥多摩町)	南多摩地域 <第2ブロック> (八王子市、町田市、 日野市、多摩市、 稲城市)	北多摩西部地域 <第3ブロック> (立川市、昭島市、 国分寺市、国立市、 東大和市、 武蔵村山市)	北多摩南部地域 <第4ブロック> (武蔵野市、三鷹市、 府中市、調布市、 小金井市、狛江市)	北多摩北部地域 <第5ブロック> (小平市、東村山市、 清瀬市、東久留米市、 西東京市)	
スポーツ・健康	<p>●住民の健康増進 ★ウォーキング・ジョギング・サイクリングなどの身近な暮らしの中の運動を通じた健康増進 ★安全で快適に走行できる自転車走行空間のネットワーク ★地域資源の再発見による地域内外の交流・振興</p>	<p>●ウォーキング・ジョギング・サイクリングを促進するコース開発・拠点づくり ■健康ポイント制度の活用 ■ウォーキング・ジョギング・サイクリングコースの検討・設定 ■推奨コース上での案内表示(自転車通行サイン等)の統一化 ■スポーツ実施者向けサービスの提供 ■ウォーキング・ジョギング・サイクリング(コース)に関するイベント開催・情報発信</p>	<p>■競技会場 周辺の「自転車推奨ルート」を核とした広域周遊コースの検討・設定</p>				
	<p>●子どもたちの健全な成長とスポーツ文化・交流の定着 ★子どもに夢を与える学びの促進、国際意識の醸成などの教育的な効果 ★キャンプ実施国との継続的な交流 ★広域連携によるスポーツキャンプや大規模スポーツ大会の誘致体制の確立</p>	<p>●現有施設等を活用した事前キャンプ等誘致活動の効果的・効率的な展開 ■東京2020大会競技や海外の競技団体に関する情報収集・交渉ルートの開拓 ■事前キャンプ誘致に向けた地域全体での戦略・対応方策の検討 ■「モニターキャンプ」の実施による受入体制の点検と評価</p>					
障がい者	<p>●社会的包摂性の醸成 ★障がい者と健常者が共生する社会の実現(心のバリアフリーの浸透) ★苦難を乗り越える精神力、努力の尊さ、フェアプレー精神、思いやり、ボランティア精神等の涵養 ★多様な障がいの種類や特性に対する理解促進</p>	<p>●障がい者に関するきめ細やかな理解促進 ■「(仮称)たまパラ・しまパラムーブメント」の推進 ■障がい者スポーツの体験イベントを通じた多様な障がい特性等を理解できる講座の開催 ■バリアフリーのまちづくりを考えることができる講座の開催</p>					
まちづくり	<p>●美しく安全・安心なまちの形成 ★まちの美観・景観保全に向けた活動を継続できる仕組みづくり ★まちの美化・花と緑による景観形成 ★シティズンシップ(市民性)の醸成</p>	<p>●まちの総点検・華のある景観形成 ■「まちの総点検」による安全・安心なまちづくりやまちの美観・景観保全の推進 ■大会開催時の飾花の継続による「華のある」景観の形成</p>					
文化・教育	<p>●ボランティア文化の定着 ★ボランティア経験者の増加 ★地域でのボランティア経験者の活躍機会の創出</p>	<p>●地域で活躍するボランティアの確保 ■ボランティア活動推進キャンペーンの展開 ■「ボランティアバンク」の創設</p>					
経済・観光	<p>●多摩・島しょ地域のブランド力の向上 ★地域の魅力・お宝の再発見 ★多摩・島しょ地域の知名度・魅力の向上 ★多摩・島しょ地域への来訪者やリピーターの確保</p>	<p>●地域の魅力・お宝の再発見～宿泊客による滞在型観光の促進～</p>					
		<p>■「ふるさとin TAMA」プログラムの実施</p>	<p>■「ふるさとin SHIMA」プログラムの実施</p>				
		<p>■在住外国人を対象としたモデルツアーの実施 ■観光地域づくりプラットフォームの構築 ■夏祭り・見本市の同時開催</p>					

